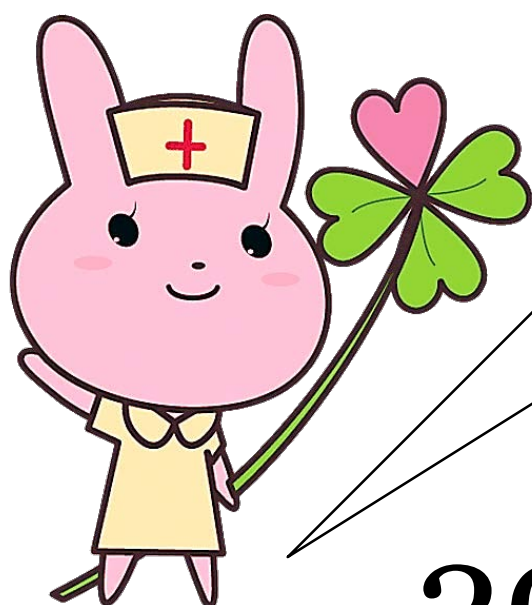


脳卒中・神経脊椎センターの

専門医師 看護師 栄養士
理学療法士がとことん解説！

脳卒中

予防と再発予防



看護部公式マスコットキャラクター
ライフちゃん

ベテラン看護師
個別相談同時開催!

(13:30~15:30)

脳の病気のこと、健康のこと、ご相談ください!

2019 **1.17** (木)

13:30-15:30

関内ホール

入場無料
申込不要
先着1000名

問い合わせ **地域連携総合相談室** 045-753-2500(代)

脳卒中・神経脊椎センターは、公立の専門病院の使命として質の高い医療情報を発信していきます。



脳卒中にならないために

城倉健 副病院長

13:30~13:45

専門分野 脳卒中医学、めまい平衡医学、神経眼科学、神経内科全般
専門資格 日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本めまい平衡医学会めまい相談医、
日本内科学会総合内科専門医、指導医、神経眼科相談医
出身大学(卒業年) 横浜市立大学(平成2年)

脳卒中後の生活再構築と再発予防

13:45~15:00

1.脳卒中後の再発予防に向けた生活の過ごし方 下村晃子 専門看護師

慢性疾患看護専門看護師。東海大学医学部附属病院勤務後、横浜市立大学医学部附属病院を経て、現職。聖路加看護大学大学院修士課程(成人看護学)修了、金沢大学大学院医学系研究科博士後期課程修了。

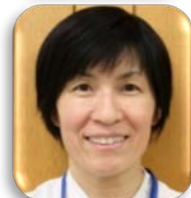
『脳神経疾患を中心に、慢性病を持つ人びとが、病いからくる困難や苦悩を乗り越え、自分らしく生きていかれるように、寄り添い、支え続ける存在でありたい。』



2.いきいき生活をつくるカギは「身体活動量！」 石田由佳 理学療法士

日本理学療法士協会神経専門理学療法士。横浜市入庁後、横浜市大医学部附属病院、横浜市総合リハビリテーションセンター、横浜市立市民病院を経て現職。

『急性期から生活期にわたる理学療法の経験を活かして、誰もが病気や加齢等と上手に付き合いながら、日常生活での活動を通していきいきと暮らせるよう、現在も取り組んでいます。』



3.私が守る 私の生活 食の秘訣 熊谷直子 管理栄養士

NST専門療法士、ワークショップデザイナー(地域教育育成専門員)。横浜市入庁後、横浜市立大学附属市民総合医療センターを経て、現職。公衆衛生大学院でMPH(公衆衛生学修士)取得。

『他者の生き方を支援するため、関係者をつなぎ、対話を重ねることで、多様性を活かす合う地域が形成されることを願い、日々活動している。』



発症時の119番通報について 越智美穂 救急救命士 15:00~15:20

横浜市消防局警防部救急課救急指導係長。戸塚消防署で2年、西消防署で5年半、救急隊員として勤務。その後、係員として現所属の救急課で8年間勤務した後、消防出張所勤務などを経て現職。

『救急活動の質を維持・向上させるための業務を担当しています。』



関内ホール (大ホール)

(横浜市中区住吉町4丁目42-1)

JR関内駅北口徒歩6分

市営地下鉄関内駅9番出口徒歩3分

みなとみらい線馬車道駅5番出口徒歩5分

◇手話通訳・一時保育(要申込み)

※ご希望の方は、12月21日(金)までに、

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター(下記)までご連絡ください。

※一時保育は、聴講される方のお子さんで2歳以上の未就学児が対象です。

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

〒235-0012 横浜市磯子区滝頭一丁目2番1号

電話 045-753-2500 (代表)

月曜日から金曜日の8:30~17:00

<http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/>

脳卒中・神経脊椎センター |

検索

